



「わっさむ町」を腕に刻み、世界で戦っている加藤大平選手

# W杯札幌大会 連日トップデイスの 大平

第11戦 8位  
第12戦 10位

### ノルディック複合

本町出身、ノルディック複合競技でソチオリンピック日本代表の加藤大平選手(30)がノルディックコンバインドワールドカップ札幌大会に出場した。

地元では会場で応援しようと応援団を結成し、連日の加藤大平選手の闘いを応援。9年ぶりの札幌開催となったワールドカップには多くのファンが詰めかけ、和寒応援団の揚げたのぼりや横断幕が会場をひときわ華やかなものにしていった。

札幌大会1日目に第8位、2日目には第10位と2戦連続のトップテン入りを果たした加藤大平選手からは、「ジャンプの調子は良くもなく悪くもなくといった状態でも上位に食い込むことができた。クロスカントリーについてはスキーが良く滑り、いつもは下がる順位も上げることができた。目標としていたトップテン入りができたし、試合毎に調子が上がってきている。それと今回は地元応援団の応援が力になった。応援いただいたみなさん、ありがとうございました。」と喜びがとうございました。と喜びと感謝の言葉を話していた。

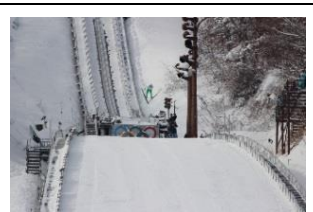
応援団は「誇りに思う。最高だった。」「頑張ってくれた。応援に来て本当に良かった。」と枯らした声で喜んでいった。

今回の札幌大会は、明るい内容で終わった大会となった。

札幌大会結果(ジャンプラージヒルK点100m、クロスカン  
トリー10km(55km×4周))  
●1月23日 W杯第11戦(札幌大会1日目)  
雪の降る視界の悪い天候の中、前半ジャンプ開始。123.5mを飛び6位につける。後半クロスカントリーでは、上位選手1名棄権のため5番スタート。少し後れをとるも10位のまま粘りを見せ、ゴール前で2人を交わし第8位でフィニッシュ。  
●1月24日 W杯第12戦(札幌大会2日目)  
天候回復し好天の中、前半ジャンプ開始。加藤選手の時に下風が無くより128.0mを飛ばも18位と出遅れる。18番スタートとなった後半のクロスカントリーでは周回を重ねることに順位を上げ第10位でフィニッシュ。2日連続となるトップテン入りを果たす。



外国人選手とのデットヒート



加藤選手のジャンプ



試合前のウォーミングアップ



歓喜に沸く応援団



ビックジャンプに大歓声



のぼりを立てて応援